

マグロ漁が好調

マグロ漁のシーズンとなる7月に入り、松前港ではマグロの水揚げで賑わっています。7月15日現在までの漁獲高は約16tで150kg以上のマグロも19本あがっており、釣り上げた漁師の皆さんは漁の疲れも忘れたかのように笑顔で荷捌所へマグロを運んでいます。水揚げされたマグロは、東京の築地市場などに出荷され、日本各地の家庭の食卓に並びます。



松前地区安全運転管理者協会がジャンパーを贈呈

7月4日、松前地区安全運転管理者協会（会長 川合孝雄）が、松前町の交通安全の推進に役立ててほしいとジャンパー50着を町に贈呈しました。贈呈されたジャンパーは今後行っていく交通安全の啓発活動で使用していきます。



いざという火災に備えて

7月5日、町立病院で消防訓練が実施されました。これは、病院で火災が発生した際に緊急時の通報や避難救助、初期消火など非常事態に適切な対応ができるように毎年行われているものです。当日は、夜間に1階調理場付近から火災が発生したという想定で火災時の院内への周知や入院患者に見立てた職員を、毛布を使って避難させるなどの訓練を行いました。訓練終了後に消防職員による講評や消火器の使用方法についての指導が行われ、参加した病院職員は真剣に取り組んでいました。



ふれあいと対話が築く 明るい社会を目指し

毎年7月に実施される『社会を明るくする運動』の啓発キャラバン隊が7月3日、松前町に来町し、役場横駐車場で関係者約50名が集まる中、セレモニーが開催されました。青少年の非行が増加傾向にあり、非行の内容も一段と凶悪化している中、セレモニーでは、法務大臣から、犯罪や非行を防止し、罪を犯した人や非行をした少年の更生を支え、人々が支え合って生きていく明るい地域づくりに参加する」という内容のメッセージが前田町長へ伝達されました。

